川島第二調整池　災害時ハザードマップ

【ため池諸元】

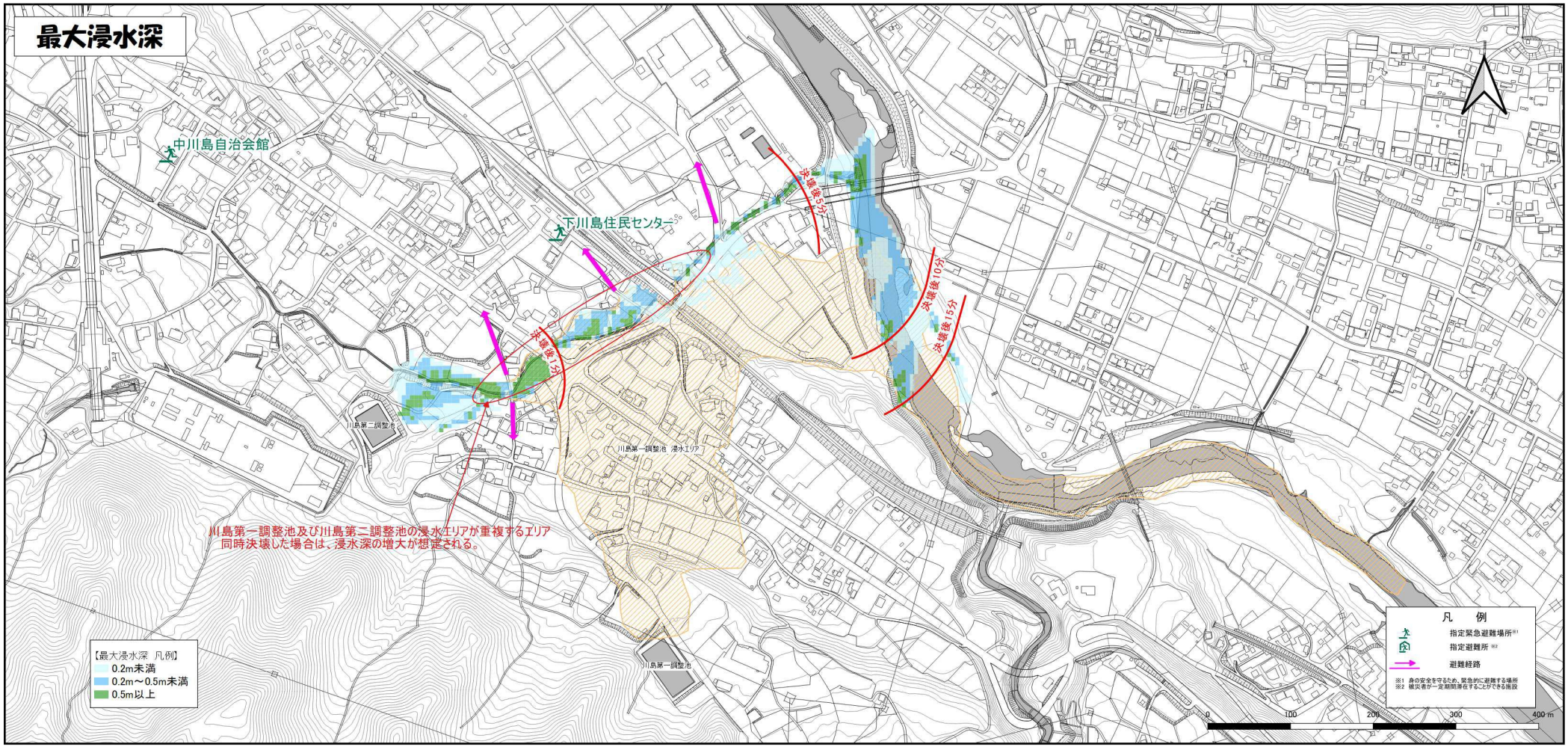
対象施設　：　川島第二調整池

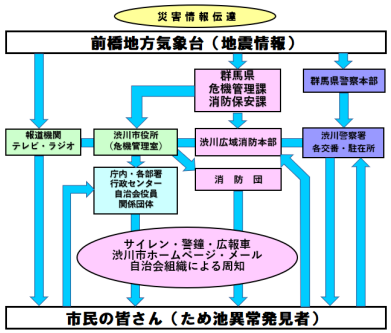
堤　　高　：　4.1m

総貯水量　：　3,000m3

このハザードマップは、地震によりため池に陥没やひび割れが生じ決壊の危険が高まった場合に安全に避難するための情報を記載したものです。ため池の異常を感じた時、速やかに避難できるよう日頃から被害・避難情報を把握しておくことが大切です。

なお、地図に記載された浸水想定区域は、決壊時の流量と現状の地形により作成されたもので地震時においては、地盤の亀裂や陥没等により大きく変わる場合がありますので注意してください。





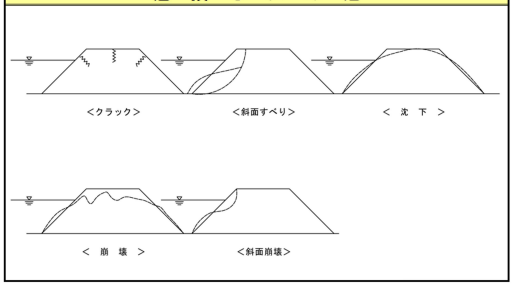
緊　急　時　の　連　絡　先

	名　称	所　在　地	T E L
公共機関	渋川市役所	石原80	22－2111
	伊香保行政センター	伊香保町伊香保162-1	72－3155
	小野上行政センター	村上3756-3	59－2111
	子持行政センター	吹屋384	24－1211
	赤城行政センター	赤城町敷島568-1	56－2211
	北橋行政センター	北橋町真壁2372-1	52－2111
消防署	渋川広域消防本部	渋川1815-51	25－0119
	東分署	赤城町上三原田468-2	56－2926
	西分署	伊香保町伊香保558-4	72－2199
	南分署	吉岡町大字上野田1201-3	54－2064
	北分署	北牧158-1	53－3513
警察署	渋川警察署	行幸田351-1	23－0110

避　難　時　の　心　得

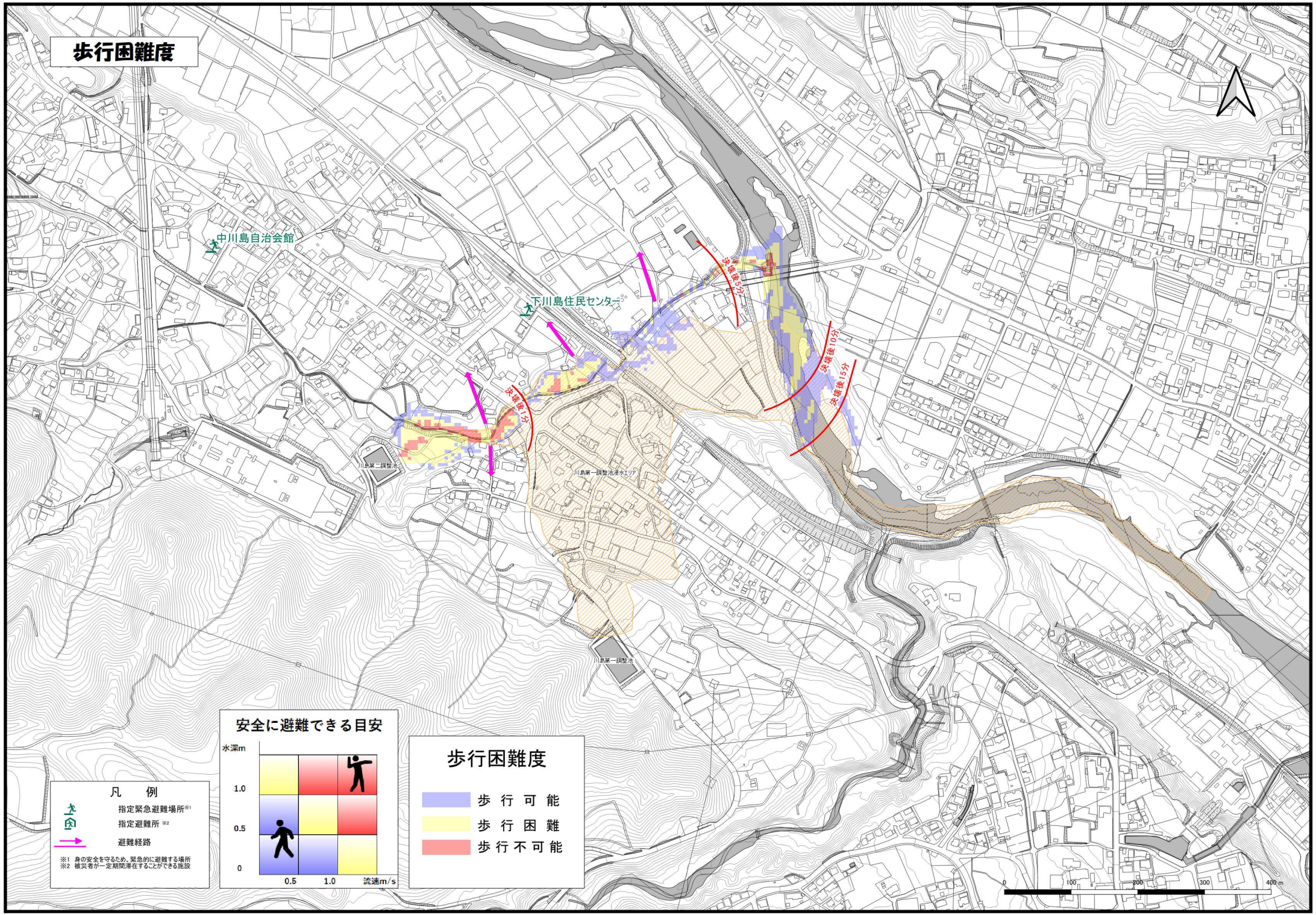
避難場所と避難路の確認	避難場所と経路は、事前に自分たちで決め、安全を確認しておく。
持ち出し品は事前に準備	避難する時の荷物は必要最低限とし、事前に準備しておく。
避難は自主的に	自分で危険を感じたら自主的に避難する。
避難の呼びかけに注意	市役所、消防署、消防団、ご近所から避難の呼びかけに注意し、呼びかけがあった場合は速やかに避難する。
避難する前に	電気、ガス等の火の元を消し、避難場所を確認する。
声かけと助け合い	ご近所どうし声かけを行い逃げ遅れがでないように助け合う。
徒歩で避難	交通渋滞や緊急車両の通行の妨げにならないように車での避難は極力避ける。
動きやすい格好で２人以上	避難しやすい格好で２人以上で行動するよう心がける。
逃げ遅れたとき	近くの丈夫な建物や高台（2階等）に避難する。

危　険　な　た　め　池



作成　令和3年3月　渋川市　産業観光部　土地改良課

歩行困難度


中川島自治会館
下川島住民センター
決壊後1分
決壊後5分
決壊後10分
決壊後15分
川島第二調整池
川島第一調整池浸水エリア
川島第一調整池
安全に避難できる目安
水深m
1.0
0.5
0
0.5
1.0
流速m/s
歩行困難度
歩 行 可 能
歩 行 困 難
歩行不可能
凡 例
指定緊急避難場所※1
指定避難所 ※2
避難経路
※1 身の安全を守るため、緊急的に避難する場所
※2 被災者が一定期間滞在することができる施設
0
100
200
300
400 m